

エリブリンメシル酸塩による治療を受けられた患者様へ

当院薬剤部では、がん薬物療法が安全に、かつ効果的に行われることを目的として、「エリブリンメシル酸塩の副作用発現状況と治療継続に影響を及ぼす因子の検討」という課題名で、疫学研究を行っております。この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会において、厳密に審査されております。ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【研究の目的と方法】

エリブリンメシル酸塩は手術不能再発乳がんに対して使用される抗がん剤で、比較的副作用が少なく、QOLを低下させることなく治療ができる薬剤です。しかしながら、好中球減少の発現頻度が高いため、投与延期や薬剤の減量が必要となる場合も少なくありません。この副作用をうまくマネジメントすることで、治療の継続が可能となると考えられます。

このお薬を使う患者様に対し、十分な感染予防対策、発熱性好中球減少症発現時の適切な対応をし、安全で有効ながん薬物療法を行うことを目的としています。

2011年11月～2014年10月の間に、エリブリンメシル酸塩による治療を受けられた患者様の診療記録より、年齢、薬剤の投与状況、臨床検査値、肝機能障害、発熱性好中球減少症、末梢神経障害等の副作用の発現状況を調査し、好中球減少が起こる可能性を予測できないかを検討します

【個人情報について】

今回の研究結果を発表するにあたり、患者様の個人情報は一切公表しません。また、研究の過程において、患者様の個人情報やプライバシーに関する内容を扱う際には細心の注意を払い、厳重にデータの管理をいたします。

【研究責任者】

本研究に診療情報の使用を望まれない場合は下記の研究責任者にご連絡ください。

また、ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

施設住所 : 〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13
施設名 : 東京歯科大学市川総合病院
部署名 : 薬剤部
研究責任者 : 川尻 尚子
TEL : 047-322-0151